

ひばりが丘の街に和を描く  
コミュニティメディア



MACHINI-WA HIBARIGAOKA vol. 11  
2017 Autumn



まだ けやきもさくらも  
青い葉が夏を惜しんでいるうちに  
ひっそりとしかし しっかりと  
赤を主張はじめる どうだんつじ

そのまわりから涼やかな空気が生まれ広がり  
やがて 秋の序曲を奏ではじめる

自然のうつろいにふと歩みをゆるめる  
なんと気持ちのいい季節なのだろう  
繰り返されるあたりまえの変化に  
我々は 心うたれる

そして すべてが染めあげられたとき  
もう次の足音が きこえてくる

## まちにわ師活動日誌#6 「ひばりが丘に成長させてもらっている」 島村 学

地域創生。サードプレイス。  
そんな言葉がニュースや本で多く見かけるようになり、「仕事だけでなく何か別の活動をしよう！」と思い立ち、まちにわ師としての活動をスタートしました。

「ひばりが丘を良いまちにするにはどうすれば良いか？」  
この問い合わせに対して皆さんで対話を行ったとき、衝撃を受けました。みんな考えていることが違う！今思えば当たり前のことがですが、そのときはこんなにも色々あるものかと驚きました。そんなひばりを良くしようという色々な想いが詰まった大イベントが昨年開催された『NIWA JAM』でした。まちにわ師として関わり、「想いをカタチにすること」「やってみること」の2つが如何に大切なことか実感しました。

私の想いをカタチにしたものは、「ここだけの保護者会」という学校に関わる人とそうでない人が一緒に子育てや教育について気軽に対話できる場です。

これまで2回開催し、ご参加して頂いたからも暖かいご意見を頂きました。開催している私自身とても勉強になっています。また、そこで出会った方と繋がりができることが何よりも喜びです！

良いまちの創り方は1つではないし、だからこそ想いはカタチにしてやってみた方が良いと信じて活動しています！これからもやりたいこと、できることをカタチにしていきます！ご興味ある方は、ぜひ一緒に活動しましょう！

### イベントプレイバック

これまでの まちにわ ひばりが丘 主催イベント

参加者合計 のべ 3,213名

短い梅雨が開けると、菜園の野菜がすくすく育ちました。夏真っ盛りのひばりが丘団地の夏祭りは大人も子供も思いっきり楽しみました。グリーンバード、まちにわリビング、ここだけの保護者会、と回を重ねるイベントや新しい試みも、7月にオープンした「手仕事をお手伝いするお店 HACO NIWA」好評につき、9月にはお店の数が2倍になりました。みんなで創るまちの楽しみが、また増えました。



### 「街に和」の重要性

近くで暮らす人がどんな人かを知っていると、困ったときに助け合えて、毎日がもっと楽しくなる。



### I 暮らしを楽しくする

小さなお子さんのいるご家庭や、ご年配の方の中には、遠くまで出かけるのは大変…と感じている方も多いはず。すぐに歩いていける距離に友人が増えると、何気ない日常に笑顔が飛び交います。



### II 課題を解決できる

悩んだとき身近に相談できる人がいて、また周囲からも見守る視点があること。そんな人ととのつながりがあることで、災害、犯罪、孤独な子育て、人の無縁化など多くの社会問題の解決につながります。



### III 建物・施設 管理の質を高められる

マンション管理の現場にて、議論がしづらいという声をよく聞きます。それはマンション内に良好な人間関係が築けていないから。あるイベントで顔を合わせたり、日頃から挨拶を交わしたりする仲ならば、より建設的で活発な議論がしやすくなり、スムーズな合意形成につながります。

### メールマガジン無料配信中！ ご登録はこちから

発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘  
編集長：田中宏明  
制 作：岩穴口康次、渡邊篤子、  
浅見美沙（以上まちにわ師）  
表 紙：佐藤正美（写真、まちにわ師）  
岩穴口亜紀（詩、まちにわ師）  
問合せ：info@machiniwa-hibari.org  
W E B : <http://machiniwa-hibari.org>  
発行日：2017年10月10日



詳しくはお問い合わせください

